

令和6年度第4回 印西市市民活動推進委員会 会議要旨

1. 開催日時 令和6年7月17日（水） 午前9時15分～午後3時50分
2. 開催会場 小林公民館 集会室1、視聴覚室
3. 出席者 戸川和成委員長、市場勝巳委員、岡野誠委員、小林宏委員、安倉史典委員、矢野眞理委員、藤澤進委員、奥田信康委員、市川弘委員、志村はるみ委員、棚橋明委員
（以上11名）
4. 事務局 市民活動推進課・伊藤課長、鈴木課長補佐、本田係長、金子、諫見
5. その他参加者 インターン生4名（千葉商科大学）、市民活動支援センター1名
6. 発表者 提案者12名（午前の部7名、午後の部5名）
（提案11、12のみ同席：市関連部署環境保全課・海老原係長、五十嵐、市民活動推進課・千葉井係長）
7. 傍聴者 議題（1）印西市情報公開条例第7条5号の規程により、非公開
議題（2）公開0名
8. 会議内容
 - 1 開会
 - 2 議題
 - （1）企画提案型協働事業 公開審査会（アイデア審査）／スケジュール及び評価の確認について
 - （2）企画提案型協働事業 公開審査会（アイデア審査）
 - 3 閉会

9. 会議要旨

2 議題

（1）企画提案型協働事業 公開審査会（アイデア審査）／スケジュール及び評価の確認について
《事務局説明》

・次第、資料3、11、12に基づき説明。

《委員質問・検討》

・公開審査会のスケジュール及び審査方法を共有。

・付帯意見の集約方法を確認。委員会を3グループに分け、7提案を分担して模造紙に集約し、グループリーダー委員が講評すること、また全体講評を委員長が行うこととした。

《委員質問・検討》

委員長：今後において、指定テーマのプレゼン免除について、プレゼン資料だけでも提案者から提供いただいて審査する形はどうか。

事務局：プレゼン免除の在り方について、前回会議において委員から確認や別途疑義があったことから、今後のアイデア審査における指定テーマのプレゼン免除の在り方については、第6回委員会

（１月開催予定）において、次年度の実施要領とともに再検討する議題でいかがでしょうか。
委員長、各委員：了承。

（２）企画提案型協働事業 公開審査会（アイデア審査）

公開審査会は午前の部と午後の部の２部制で開催。

午前の部は自由提案型３件、午後の部は指定テーマ型４件の審査を実施。

指定テーマ型のプレゼンの前には担当課より、指定テーマの内容を説明した。

また第３回市民活動推進委員会で、プレゼン免除が決定した提案９、１０については書面審査のみとした。

【午前の部】

①プレゼンテーションの進め方と審査方法等の説明

②プレゼンテーション

【提案１】市民に愛され親しまれる印西市立図書館を目指す事業

提案者の発表

提案者はパワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

（質問１）企画提案型協働事業として行うメリットは？

（提案者回答）印西市が呼べない講師の方を呼ぶことができたり、講師の方から、貴重な話を聞くことができます。

（質問２）３つの事業を行うことで、どのくらいの効果を見込んでいるのか。

（提案者回答）事業を行うことで、まず図書館に興味を持っていただくことができると思います。木刈親子読書会が開催した鳥の巣の講演会は、大変好評でしたので市民のニーズは高いと思います。

（質問３）３つの事業があるが、ターゲット層はどこなのか。

（提案者回答）図書館とは幅広い層の市民のために開かれているものです。そのため、特定のターゲット層があるわけではありません。

（質問４）課題の人材不足と事業内容にどういった関連があるのか。

（提案者回答）司書の方はルーティンの仕事しかできていないのが現状です。私たちがボランティアスタッフとして働くことができ、その功績が認められれば印西市の方で予算をつけて、人を増やすことも考えられると思います。

（質問５）「知る権利」と記載があるが、具体的に説明してください。

（提案者回答）市民が学びたいという気持ちがあれば、その資料を提供するのが図書館の役割と考えています。

（質問６）講演会の効果は限定的にも思えるが、その効果や数値目標をどのように考えているのか。

（提案者回答）図書館計画１０ヶ年のうち最初の３ヶ年に継続提案していくつもりです。市と役割分担しながら協働していくことが、図書館事業にとって良いと思っています。数値目標は提示でき

ていません。

【提案2】アトリエスタ保育園・幼稚園等訪問事業「アトリエしようよ！」

提案者の発表

提案者はPDFを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

（質問1）美術活動が幼児にどのくらい効果があると思われるか。

（提案者回答）子どものひらめいたことを形にすることで、感性が育まれると思います。

（質問2）保育園側はどのくらい意欲的なのか。

（提案者回答）園長会のほうにお邪魔させていただいたが、ニーズはあると思います。忙しいのでアートの準備をどうしたら良いかといった声も聞きます。簡単な記録などを団体側でさせていただき、保育士さんのお手伝いができればと思います。

（質問3）1箇所あたりの講師は1名ですか。また1箇所あたりの対象生徒数は何名ですか。

（提案者回答）1人の講師がいくつかの園を担当します。1箇所あたりの対象生徒数は保育園だと20名から25名。幼稚園は25名を3クラス担当します。

（質問4）公立の園だけを対象とした理由は？市内全域に公平性を担保していく必要があるとも思うが。

（提案者回答）将来的には市内全ての園で活動していきたいと思っています。ただ予算のことを考えたときに、まずは公立の園から活動を始めようと考えました。

（質問5）まちづくりファンドでの事業と企画提案型協働事業の事業内容に違いはありますか。

（提案者回答）内容としては同一の事業を実施予定です。まちづくりファンドで今年度実施してから、課題を修正していこうと考えています。

（質問6）ハイブリッドでオンラインを併用して事業実施する考えはあるか。

（提案者回答）考えてみたいと思います。

【提案3】3～5歳って何が大切！？我が子のためにできることって何だろう？わんぱく・おてんばキッズ事業

提案者の発表

提案者はPDFを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

（質問1）グレーゾーンの子には、どういったアプローチをするのか。またグレーゾーンの子とバランスボールの因果関係について伺いたい。

（提案者回答）判断がつきにくいお子さんについて、お子さんもですが、子育てで悩む親御さんの手伝いができればと考えています。バランスボールとの因果関係についてですが、簡単に家でできる運動を支援していきたいという思いで、バランスボールを取り入れています。

(質問2) 事業の対象者はグレーゾーンの子だけではなく、健常児も対象なのですか？

(提案者回答) はい。自分の子供にそういった障害があると認めたくない親御さんも多くいるので、グレーゾーンの子のための事業と銘打つのは難しいと考えます。そのため、幅広く健常児にも来ていただいて、知識や運動の大切さを知ってもらいたいと思っています。

(質問3) グレーゾーンの子を参加者の中からピックアップして対応する事業なのか、全体像が見えないので教えてほしい。また一人一人個性の違うお子さんたちと接するときの事業としての責任をどう考えるか。また療育事業との関係はどうか。

(提案者回答) 親子で気軽に来てほしいのが一番の目的です。生活のヒントを全体に投げかけたいと思っています。市の療育事業が半年待ちと聞いています。市の専門機関と連携できるに越したことはないと思いますが、まずは必要としている情報を届けたいという思いです。事業形式として一角に保育の場を設けて、子が提案者で対応できない場合は、母のところに戻し、提案者が寄り添う形にしたいと思っています。

③審査結果午前発表・講評

【審査結果】

提案番号	事業名	○	△	結果 (可/否)
1	市民に愛され親しまれる印西市立図書館を目指す事業	10	1	可
2	アトリエスタ保育園・幼稚園等訪問事業「アトリエしようよ！」	5	6	否
3	3～5 歳って何が大切！？我が子のためにできることって何だろう？ わんぱく・おてんばキッズ事業	5	6	否

【講評】

提案毎に、担当の市民活動推進委員会委員より講評を行う。

【提案1】市民に愛され親しまれる印西市立図書館を目指す事業

- ・市民ニーズを的確にとらえた事業であると評価します。
- ・図書館行政の人材不足という課題に関して、事業内容が結びついているのか、また提案者と市の役割分担など、よく検討・協議してください。
- ・多くの市民が関心を持ってくれるよう、分かりやすく持続可能な事業内容を検討してください。

【提案2】アトリエスタ保育・幼稚園等訪問事業「アトリエしようよ！」

- ・個別には感性が育まれることを評価する好意的な意見がある一方で、ニーズ把握ができていないのではないかといった意見がありました。
- ・次回提案する際には、幼児教育において芸術に関わることが不足してしまうことによる課題は何か、よく検討してください。

・事業費の費用対効果について検討してください。また、公立以外の事業実施についても検討してください。

【提案3】3～5歳って何が大切！？我が子のためにできることって何だろう？わんぱく・おてんばキッズ事業

- ・対象者が曖昧であり、グレーゾーンの子と健常児を対象とするのは範囲が広すぎるのではないかと感じています。
- ・次回以降の事業提案の際には、対象や事業規模など、専門家や行政機関とよく相談してください。
- ・バランスボールの有効性や、市の施策との整合性について検討するとともに、幅広く他の機関と連携するなどしてください。

【総評・午前】

委員長より総評がある。

- ・どの事業に関しても課題の把握の的確性に関しては理解することができた。
- ・事業として提案していく時に、事業目標が課題に結びついていたのか、再点検してほしい。
- ・今後の新規提案について、空間を広げて考えるなどして機会を最大限に生かしてほしい。

【事務連絡】

- ・提案者に、本日の審査結果通知の予定を説明。また、アイデア審査を通過した提案者に、最終審査に臨むにあたっての三者協議や提出書類等の通知を説明した。
- ・最終審査を10月4日に実施することを説明。

【午後の部】

- ①プレゼンテーションの進め方と審査方法等の説明
- ②プレゼンテーション

【提案9】竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業
プレゼン免除

【提案10】グリーンカーテン大作戦！「CO2を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」
プレゼン免除

【提案11】里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業
環境保全課より、指定テーマの内容説明
提案者の発表
提案者はパワーポイントを使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

（質問１）事業内容はどうか。

（提案者回答）協議会を設置して、提案内容に掲げる作業をしていくことです。

（質問２）印西市が管理する土地は何ヘクタール位あるのか。

（提案者回答）それも協議会で整理しなければならないことだと認識しています。

（質問３）協議会が１２回あるとのことだが、その会議の終着点は？また広報の仕方について伺いたい。

（提案者回答）少なくともやりたいと思っていることは、印西市の自然環境の現状把握と、市民活動団体がどこで活動し、どんな課題があるのか整理することです。また環境省で年２回実施しているOECM登録をしていきたいと考えています。OECM登録をすると企業と連携しやすくなるなどのメリットがあります。広報に関しましては、協議会で議論していることや印西市の課題と団体の活動場所を掲載したマップを掲載していきたいと考えています。また市民や企業向けにイベント等を行いたいと考えています。

（質問４）計画に計画を重ねるようにも見える。環境保護は具体的にいつ始まるのか、誰がどう行うのか。

（提案者回答）計画策定が目的ではなく、活動を活性化させたり、活動量を増やしたり、団体を増やしたり、中身をより深いものにしてみようのが目的です。

（質問５）印西市の具体的な課題は認識されているのか。また中間支援のようにも思えるが、QOLの向上にどう結びつくのか。目的と遂行される中身はどこまで近いのか。

（提案者回答）大地の中の草原、湿地を保つように活動しています。そういったことの輪が広がっています。企業も興味を持ってくれています。

（質問６）市はデータセンター等が増えているが、住環境をよくしていくことは市としての切実な問題だと思う。民間企業を巻き込むスキームにしていく必要があると思う。

（提案者回答）（時間終了のため未回答。）

【提案１２】#私たちの保健室～みんなで繋がり合える印西市を目指して～

市民活動推進課より、指定テーマの内容説明

提案者の発表

提案者は模造紙を使い、提案内容について説明を行った。

質疑応答

（質問１）団体が実施している活動を、企画提案型協働事業で実施するということによろしいか。そのうえで、提案事業が多岐にわたるが、すべての事業を実施できるのか。また生理セットを企業から提供してもらうことは可能か。

（提案者回答）市と協働することで、今行っている活動の規模を拡大したものを実施できると考えています。すべての事業を実施できるのかということに関しましては、運営メンバーは５名ですが、

ボランティアの方の力も借りながら、人件費もう少し多くして実施できると考えています。生理セットの提供はすでに全国や企業から、寄贈を頂いています。協働事業としてやっていくとなった時に、市からの働きかけがあれば、企業協力による提供は可能だと思います。ただ処分品の提供という形になっていますので、数を安定して確保できるかは分らないです。

（質問２）市の事業として、こういったことが担えるのか。また、すでに連携していることがあるのか。

（提案者回答）市の小学校への働きかけとして、共働き家庭が増えて生理のことを忘れていて支援できていない家庭もいるので、生理用品に触れていくことなど含めて学んでほしいと思っています。男女共同参画事業として３回実施済みです。

（質問３）リプロダクティブ・ヘルス/ライツの知識を教えるということで、避妊や中絶のこともかわってくる。それらの知識は男子生徒にも教える必要があると思うが、見解を伺いたい。

（提案者回答）女性の経血量など男性が知らないことも多くあります。そういったことから学んでいただきたいと考えています。

③審査結果午後発表・講評

【審査結果】

提案 番号	事業名	○	△	結果 (可/否)
９	竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業	11	0	可
10	グリーンカーテン大作戦！「ＣＯ２を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」	10	1	可
11	里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業	9	1	可（※）
12	#私たちの保健室～みんなで繋がり合える印西市を目指して～	9	2	可

※１１については委員１名が提案者のため、審査を外れる。

【講評】

提案毎に、担当の市民活動推進委員会委員より講評を行う。

【提案９】竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業

・市民ニーズを的確にとらえており、地域の環境に寄与した公民連携の取れている事業であると評価します。

・景観、環境の維持に貢献していることは大変評価できます。今後において、担い手の人材確保に努めていただきたいと思います。

【提案１０】グリーンカーテン大作戦！「ＣＯ２を減らそう！ストップ温暖化大作戦！」

・的確に課題を把握しており、相乗効果の期待できる事業であると思います。

・SNS をうまく活用されているとのことなので、グリーンカーテンを実施する家庭が増えるような発展的な周知について検討してください。

・グリーンカーテンが CO2 削減に一定の効果があることの意識啓発について工夫するなど、今後の取り組みを期待します。

【提案 1 1】里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業

提案者の発表

提案者は PDF を使い、提案内容について説明を行った。

・テーマの大きい事業であるため、期待も大きいと思います。市民活動団体の強みが発揮できる事業でもあります。

・「グリーンインフラ」を実現するにあたり様々な問題を可視化して、課題解決に向けて実行していくとのことですので、市民活動団体や行政などと、よく協議してください。

・提案者の役割を明確にするとともに、周知方法について検討してください。

【提案 1 2】#私たちの保健室～みんなで繋がり合える印西市を目指して～

提案者の発表

提案者は模造紙を使い、提案内容について説明を行った。

・課題把握の視点が良く、市の施策との整合性のある事業であると評価します。

・女性だけでなく男性を対象とする事業についても、よく協議してください。

・事業内容における提案者と市の役割分担や、事業の周知方法等、検討してください。

【総評・午後】

委員長より総評がある。

・行政だけでは行き届かない問題について、また平準化の必要なことについて市民の方と一緒に取り組むことが協働事業で、その好事例を示してくれていると受け止めています。また、スローガンとして掲げている事柄について、環境事業等どうやって近づけていけるか、これからの協働のさらなる発展と今後の事業実施を続けていただけますと幸いです。

【事務連絡】

・提案者に、本日の審査結果通知の予定を説明。また、アイデア審査を通過した提案者に、最終審査に臨むにあたっての三者協議や提出書類等の通知を説明した。

・最終審査を 10 月 4 日に実施することを説明。

以上

令和6年7月17日に行われた、印西市市民活動推進委員会の会議録は事実と相違ないので、これを承認する。

令和6年8月1日

会議録署名委員 委員長 戸川 和成